

進路だより



第2号 令和6年6月14日発行
静岡県立浜松みをつくし特別支援学校
進路指導課

家庭でのキャリアパスポートの作成と活用をお願いします！

本校では、「夢や目標、楽しみなこと等に向かって主体的に活動する意欲や態度を育み、卒業後の生活を視野に入れ、自らの生き方を主体的に考え、自己実現を果たしていこうとする能力や態度を育成する」ことを目的としてキャリア教育を推進しています。そして、その推進の中心的な手段として「キャリアパスポート」を活用しています。小学部は<がんばりシート>、中学部は<チャレンジシート>、高等部は<キャリアアップシート>という呼び方をして、各教室や廊下に掲示しています。

昨年度は、この「キャリアパスポート」を家庭でも作っていただきました。今年度も同様に家庭でのキャリアパスポートを作っていただきます。家庭での日々の取り組みをより良いものにすることは、今の生活を豊かなものにのみならず、将来の「働く生活」につながっていきます。保護者の皆さん、児童生徒、学校で協力して進めていきましょう。

1 キャリアパスポートとは

学校では、以下の考え方でキャリアパスポートの取り組みを進めています。家庭でも同じ考え方で進めていきましょう。

- ・夢や目標、楽しみなこと等に向かって主体的に活動する意欲や態度を育むためのもの。
- ・「自分で立てた目標に向かって取り組み、自ら評価をする」もの。
- ・努力の過程や成果から喜びを味わい、評価(賞揚)を喜びとする経験の蓄積を図っていくもの。

家庭でのキャリアパスポートは、お子さんが、保護者の支援を受けて、家庭での目標に主体的に取り組むことができるようにするためのものです。**その頑張りを保護者の皆さんがたくさん褒めてあげてください。**このような経験を積み重ね、主体的に活動する意欲や態度を育んでいきたいです。

2 目標設定について

面談等で目標を立て、すでにパスポートを作成済みの方が多いかと思いますが、具体的には、手伝い、挨拶、身辺処理に関すること、運動、余暇の過ごし方、習い事、食べ物の好き嫌い、公共交通機関の利用、買い物などが考えられます。お子さんの夢を実現するため(近づくため)の一つの取り組みとして考えてもらえるとよいと思います。

3 夢について

学校のキャリアパスポートにある「夢」を、家庭でもお子さんとの生活の中で共に考えてみたり保護者の方が意識してみたりしてみてください。

4 様式と期間

基本は学校の各学部のキャリアパスポートと同じ様式で作成します。家庭でのキャリアパスポートは、前期と後期で各1枚とします。1回目の面談時に家庭での目標を決め、(本人の夢や支援目標を参考にして決める。)2回目の面談時に前期評価、3回目の面談時に後期評価(賞揚)を担任と共有していきましょう。前期の取り組みが終了したときにその評価を受けて、後期に向けての目標を考えてみてください。前期の取り組みでまだもう少し継続をしたいということになれば、後期は同じ目標でも構いません。

日々の生活で活用していただきたいので、キャリアパスポートは見えるところに貼ったり連絡ファイルに挟んだりしておいてください。

活用事例

- ・御家庭で、お子さんが自分の目標として活用できるよう、形式等も自由に変えてくださっても大丈夫です。毎日の振り返りでシールを貼ったり、できたときに評価したりして御家庭に合った方法で活用してください。よろしくお願いします。

